

株式会社 東日本 計算センター

代表者：代表取締役社長 鷲 弘樹

所在地：〒970-8026

福島県いわき市平字研町2番地

●資本金：4,000万円

●従業員数：323名

●電話番号：0246-21-5500(代)

●FAX番号：0246-35-0705

連絡担当者：取締役フェロー R&Dセンター長
中野 修三

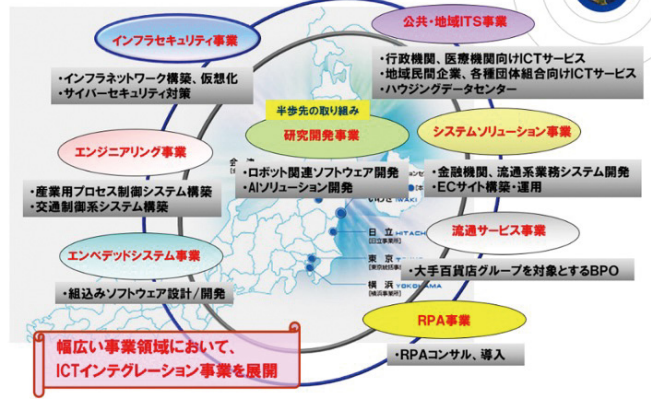
ホームページ <https://www.eac-inc.co.jp/>

主な事業・営業品目

ビジネス系から制御系、そしてインフラ系まで幅広く扱う

“ソリューションプロバイダー”

会社概要(事業概略のイメージ)



■事業領域

データエントリー、受託計算、受託開発、システムエンジニアサービス、ネットワークインフラ構築、セキュリティなどビジネス系の事業領域

交通、プラント制御、車載関連の組込みシステムなど制御系の事業領域

■プラットフォーム

大型汎用機からワークステーション、クライアント・サーバ、組込、Web、ロボット・ドローンなど

主な製品・技術等

緊急連絡システム
『ケータイ
連絡網グルリン』



ユニフォーム
管理ソリューション
『EAC-IMSU』



風力発電分野の取り組み

PR・挨拶

弊社のドローン飛行制御システムは、“隊列飛行”を特徴としています。これまでの開発の経験と知見により、災害対応、広域点検、気象観測などの分野に取り組んできました。

現在風力発電点検業務を行っている株式会社福島三技協様と連携して、『“ブレードに内装されている雷対策用接地線の断線確認”をドローンにより自動点検するシステム』の開発を行っています。

これまでの実績

2020年度に、ブレード先端検出及びドローン自動誘導の基本的な技術検討を行いました。

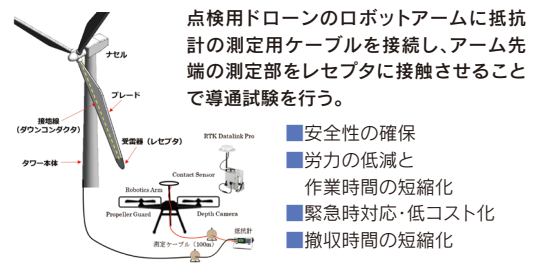
2021年度からは、『事業計画名：ドローンを使った大型風力発電用ブレードに内装されている雷対策用接地線の断線点検実用化開発』として、「令和3～5年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金」の採択を受け、ドローンによる自動飛行点検システムの開発を行い、令和6年度の事業化を目指しています。



具体的な提案

従来ロープワークや高所作業車によって行っている雷対策用接地線の断線確認を、ドローンを使って安全、確実、スピーディに実施でき、かつ低コストで汎用性の高い点検方法を開発しています。現在点検業務を行っている企業や今後新規参入する企業にこの点検システムを提供し、福島県内に設置される風車の点検業務への地元企業の参入を支援します。

また、この点検システムは従来の点検方法に対し、安全で、効率よく実施できますので、将来的には日本全国への展開も図っていきたく考えています。



点検用ドローンのロボットアームに抵抗計の測定用ケーブルを接続し、アーム先端の測定部をレセプタに接触させることで導通試験を行う。

- 安全性の確保
- 労力の低減と作業時間の短縮化
- 緊急時対応・低コスト化
- 撤収時間の短縮化

対応項目

- ブレード部
- ソフトウェア関係
- メンテナンス部